

【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
 ~夢の実現~ 〈重点目標〉 目標に向かって、学びを活かし自己表現できる生徒

原町三中だより



平成27年8月25日(火)第13号

発行責任者：校長 荒木 幸子

TEL 22-3802

夏に鍛えた元気な笑顔がもどる

& 80日間の2学期スタート

県内でも気温39度を記録するなど今年の夏も酷暑でした。保護者の皆様には、お元気で酷暑を克服されたでしょうか？お陰様で学校では、私をはじめ教職員も、体調を崩すことなく元気に夏を過ごすことができました。

さて、38日の長い夏休みもお陰様で、大きな事件・事故等も無く、子ども達は一段とたくましくなった姿で今日登校することができました。ご家庭のご指導・ご支援に感謝申し上げます。休み中の中体連県大会では敗れはしたものの、相双の代表として堂々と最後の最後まで粘り強いプレーをしてくれました。また、吹奏楽部は県大会で見事銀賞を獲得しました。加えて野球部は、第9回ジャイアンツ杯福島県中学校野球大会で見事準優勝をおさめることができました。ご家族の皆様の温かい応援ありがとうございました。また、早朝から駅伝の練習や常設部の練習、英語弁論大会の練習等も頑張りました。3年生は、学力強化事業(勉強会)に参加し、目標達成に向けてがんばりました。

8月22日の「三校交流の集い」では、PTA会長様、奥村厚生育成委員長様を中心に、多くの保護者の皆様のご協力をいただいたこと、またたくさんのご参加をいただきましたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

2学期は80日間と長く、職場や福祉施設体験、博物館やアグリパークでの環境体験、上級学校見学体験、英語弁論大会、新人戦、アンサンブルコンテスト、燦稜祭、そして3年生の進路選択等充実の学期となります。学校は、子ども達の社会性の育成や授業の充実に一層力を入れていきます。何か、困ったことや相談等がございましたら、担任、学校にいつでもご連絡ください。2学期も保護者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



8月・9月の学校経営方針



8月の学校生活目標「時間を守り、規則正しい生活を送ろう」

◇実践の重点<夏季休業中の反省と指導(計画的で規則正しい生活)>

- ・規則正しい生活への意識づけ(1年)、非行防止指導(2年)、体験入学後、進路選択への指導(3年)

9月の学校生活目標「係活動やボランティア活動、部活動に積極的に取り組もう」

◇実践の重点<服装・頭髪・持ち物・あいさつ・時間のけじめの指導、後期委員の選出と学級組織づくり>

- ・部活動への積極的参加(1, 2年)、放課後の過ごし方・学習環境の整備(3年)



8月26日	1・2年課題テスト 3年実力テスト	12日(土)	第2回PTA奉仕作業・廃品回収
8月28日	英語弁論大会(相馬市民会館)	15日(火)	体験学習③
2日(水)	相双中体連駅伝大会(弁当日)	17日(木)	生活習慣病検診
4日(金)	交通教室	18日(金)	新人大会選手壮行会
8日(火)	体験学習①・② (~9日)	25日(金)	少年の主張県大会
11日(金)	生徒会役員選挙		島さん発表 全校生聴講
シルバーウィーク	19日~23日 5連休	29日(水)	相双中体連新人大会(~30日) 3年実力テスト(弁当日)
	20日 相双バンドフェスティバル		

12日の奉仕作業・廃品回収へのご協力を宜しくお願いいたします。

裏面もご覧下さい

平成27年度 二学期始業式 式辞

38日間の長い夏休みが交通事故や大きな事件に巻き込まれることもなく無事に終了し、皆さんの元気な姿を見ることができて嬉しく思います。

夏休み中は、常設部はもちろん、早朝から駅伝練習、3年生は学力強化事業への参加、そして家庭での学習と「夏に鍛える」の合言葉どおりに、一生懸命取り組んだことと思います。

先月22日から行われた中体連県大会では敗れはしたものの相双の代表として緊張の中にも全力のすばらしい試合を展開してくれました。吹奏楽部は県大会のステージで堂々の演奏をし、銀賞を獲得しました。また、野球部はジャイアンツ杯福島県中学校野球大会で見事準優勝を獲得しました。関係の生徒諸君の頑張りに拍手を送ります。県大会では初戦を突破することはできませんでしたが、どの戦いも接戦で、もう一段階練習のレベルを上げ、加えて精神力を高めれば県大会で通用する力を持っていると校長先生は思いました。是非、1、2年生は先輩の頑張りを引き継いで、新人戦や来年度の県大会で活躍できるようこれからも練習に励んでください。期待しています。

さて、今日から2学期が始まります。104名だった生徒数は、3年2組に高橋君が転入し105名となりました。皆さんの仲間が増えたことを嬉しく思います。今週末には、英語弁論大会があります。創作の部に出場する「島才加さん」、暗唱の部に出場する「川島大知君、京谷遙さん」、猛暑の中、一生懸命に練習した成果を十二分に発揮してほしいと思います。応援しています。この2学期は約4ヶ月、授業日数80日の一番長い学期です。この学期を「実りの多い、充実した学期」にしたいと思っています。そのため、次の3つのことを努力してほしいと思います。

まずは、しっかりと勉強をすることです。本年度の三中の重点目標は「目標に向かって、学びを活かし自己表現できる生徒」です。夢の実現のため、自分の目標に向かって意欲的に学ぶ、論理的に考え、自分の考えを発信することにチャレンジして下さい。加えて、家庭学習にもしっかりと取り組むことが大事です。分からないことは諦めるのではなく、先生や友達に質問し、繰り返し学習しましょう。中学生の時に、しっかりと学び、脳を鍛えることは、人間として必要な考えて行動する脳を作ることになります。また、3年生にとっては、進路実現にも繋がっていきます。

2つ目は2学期の最大の学校行事「燦稜祭」を成功させることです。一人一人の主体的な取り組みと、学級・学年が協力して一生懸命思い出に残る、そして感動の「燦稜祭」を創りあげてください。

3つ目は部活動への意欲的な参加です。相双大会や県大会の反省を活かし、先輩が築いてきた伝統を受け継ぎ、さらに良い結果が残せるよう、相双中体連駅伝大会や中体連新人総合大会、アンサンブルコンテストなどにむけ、精一杯努力してほしいと思います。

夏の高校野球では、多くの感動的な試合が展開されました。たくさんの方のスター選手もいました。その中で校長先生が印象に残ったのは鳥羽高校の梅谷主将です。高校野球大会は第1回大会から今年で100年を迎え、その第1回大会で優勝した学校にゆかりのある鳥羽高校の梅谷選手が選手宣誓の指名を受けました。その内容は平和な時代で野球ができることへの感謝、聖地甲子園で全国大会に出場できることへの誇り、支えて下さる方への感謝のことばでした。梅谷選手は3ヶ月前にお父さんを亡くしています。生前お父さんは、小学校1年生から亡くなる直前まで欠かさず試合で応援してくれました。主将になることを迷っているときに背中を押してくれました。春の大会で負けても「おまえが主将だったら甲子園に行ける、甲子園で選手宣誓をやるんだ」と言って励ましてくれました。梅谷選手の感謝のことばを込めた選手宣誓にも、また、堂々とした全力の戦いぶりにも本当にも感動しました。

皆さんのご家族も先生方も深い愛情で皆さんを支えてくれています。応援してくれています。どうぞ皆さんも「自分の夢の実現」に向けて、ひたむきに、謙虚に努力してほしいと強く思います。一生懸命頑張ることが感謝の気持ちを表すことになります。

長い2学期、三中からいじめなどという言葉が無く、みんな仲良く、充実の2学期となるよう皆さんの努力に期待し、式辞といたします。

ニコラス先生着任 よろしくお祈りします

この度の人事異動により原町第一中学校から、ALTのニコラス先生が着任しました。ケリー先生同様よろしくお祈りいたします。

着任のごあいさつ ALT ニコラス・ベルモンテ

「私は英語を教えることをがんばります。生徒のみなさん、ベストをつくしてください。」

I'm looking forward to meeting everyone! I'll do my best to teach English.

Students, for the second term, please do your best!